

## オンライン・セミナー開催案内

(生産・工作機械メーカーの設計・製造・IT部門の意思決定者様 対象)

# Japan Machinery Innovation Forum 2021

## 日本における生産・工作機械メーカーの発展・将来の展望について考えるフォーラムにぜひご参加ください！

招待制イベントとして例年開催しておりました、「Japan Machinery Innovation Forum」につきまして、今年は招待制のオンライン・イベントとして、会期を3日間として開催する運びとなりました。会期中はいつでもお好きな時間にご興味のあるコンテンツにアクセスいただけます。

本イベントは生産・工作機械メーカーの皆様にお集まりいただき、日本における生産・工作機械業界の皆様が抱える製品開発の課題や将来の展望について情報共有をすることを目的としたイベントです。

これまで同様、日々世界中のお客様とのビジネスを通じて、シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェアが考える生産・工作機械業界のトレンドやビジョンをご参加者の皆様に共有させていただきだけでなく、日本における同業界の企業が、今後の競争優位獲得と維持のために、今実践しなくてはならないデジタル・トランスフォーメーション(DX)への変革にどのように取り組むべきかを考える場として、本イベントをご活用いただければ幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア

## フォーラムのポイント

- シーメンスの海外講師による、グローバルの最新情報アップデート
- ユーザー様による事例紹介
- シーメンスから実機デモを含んだソリューション・ポートフォリオのご紹介
- オンライン開催を利用して、三日間の会期中にいつでもお好きな時間にご参加が可能
- 本イベントにご参加いただく皆様には、同時開催のオンライン・イベント「Japan Machinery Technology Days2021」にもご参加が可能(新たに申し込み不要です。)Japan Machinery Technology Daysでは20点以上の動画コンテンツを準備予定。詳細は [こちら](#) からご覧ください。

## セミナーの詳細・お申込みはこちら

QRコードをスキャンまたはクリックして申し込む ➡

※弊社の個人情報保護方針については、  
<https://www.plm.automation.siemens.com/global/ja/legal/privacy-policy.html> をご参照ください。



## イベント概要

日時: 2021年8月31日(火)10:00 Open  
2021年9月2日(木)18:00 Close

### 主催:

シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア

### 対象者:

生産・工作機械メーカーの設計・製造・IT部門の意思決定者様

### お申込み:

下方のURLまたはQRコードからお申込み下さい。

申込締切: 8月25日(水)まで

プログラム: 以下「プログラムを見る」のページ上に順次ご案内いたします。[プログラムを見る](#)

参加費: 無料(招待制)

参加人数: 60名ほどを予定

### お問合せ:

シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア  
セミナー事務局  
([jp\\_event.plm@siemens.com](mailto:jp_event.plm@siemens.com))

※本オンラインフォーラムへのログインは、参加登録いただきました個人Emailアドレスで管理しておりますので、1名様ずつ参加登録をお願いいたします。  
尚、ご招待者リストに含まれない方のご登録があった場合は、お断りさせて頂く場合がございますので、複数名での参加をご希望の際は、弊社担当まで連絡頂きますようお願い致します。



シーメンス株式会社  
インダストリー営業本部  
本部長  
貴島 雅史

## 【IF01】 オープニング & ご挨拶



シーメンス株式会社  
産業機械 / 重機業界担当  
バイスプレジデント  
ラフル・ガーク

## 【IF02】 産業機械業界のデジタルの未来を加速する

今日では、デジタルライゼーションは広く普及しており、今後のビジネスにおいて重要な役割を果たすことは言うまでもありません。どのようにして、デジタルライゼーションへの道のりを加速させ、無限のチャンスをいかに生かすのかについて、最も重要な3つのトピックについてお話しいたします。またデジタルライゼーションを駆使し、利益を得ることに成功した先進的事例についてもご案内いたします。※本セッション言語は英語となりますが、日本語テロップが入ります。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IF03】 デジタル・ツイン テクニカルセッション概要

生産・工作機械業界への要求は年々複雑かつ高度になっています。シーメンスでは、その要求実現を支援する様々なデジタル化ツールを用意しています。このセッションでは、エンジニアリングバリューチェーンのデジタル化を定義する用語の説明と、実際に活用可能な3つのデジタル・ツインの概要についてご紹介するとともに、既にデジタル化によって効果をあげている、OPTIMA社の事例についてご案内いたします。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IF04】 設計のデジタル・ツイン

設計のデジタル・ツインでは、バーチャルな設計と設備の完全な3D化、そして管理についてご紹介いたします。

デジタル・ツインの礎となるデータを完全な3D化で表現することで、アイデア段階から様々な検証を実施できます。また、過去のデータ資産活用から、従来まで3D化しきれなかった領域まで幅広く対応することが重要であり、正しい情報管理の元で運用することが求められます。



シーメンス株式会社  
プリセールス本部  
ソリューションコンサルタント  
大崎 実紗



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
スペシャリスト  
小林 憲貴

## 【IF05】 製造のデジタル・ツイン

製造のデジタル・ツインでは、バーチャルな製造とリアルな製造で活用可能なソリューションについてご紹介いたします。

バーチャルな製造では、メカ制御のコラボレーション技術を推進することができ、また、製造準備として加工データの自動化、製造領域にデジタルデータを届ける施策を行うことが可能になります。リアルな製造では、機械製造と機械運用の両方に適用可能なツールをご案内します。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
スペシャリスト  
境田 千洋



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IF06】 性能のデジタル・ツイン

性能のデジタル・ツインでは、性能を評価し、ビジネスを拡張するソリューションについてご紹介いたします。

設備の状態把握や動作状況を収集することができるのと同時に、PLMに格納された3Dデータをサービス領域で活用してサービスマニュアル作成の効率化、VR/AR技術との組み合わせで新しいソリューションへ拡張することができます。



シーメンス株式会社  
プリセールス本部  
コンサルタント  
西田 徹

# 予定プログラム



シーメンス株式会社  
デジタルインダストリーズ  
ファクトリーオート  
メーション事業部  
アジアパシフィック  
テクニカルサポート  
エイドリアン・ワルドハナ

## 【IF07】シーメンスと始めるデジタルイゼーション・ジャーニー(SGP)

製造業にデジタル化の大きな波が押し寄せる中、企業はこれらの新技術にどこでどのように投資するかを決定し、どの技術が自社に最も適しているかを見極めなければなりません。アジア太平洋地域の多くの産業は、機械やプラントにデジタル化を導入することで多くのメリットを享受しています。本セッションではシンガポールにあるデジタル化体験センターから、今回参加されるお客様をデジタルイゼーション・ジャーニーにご案内します。  
※本セッション言語は英語となりますが、日本語テロップが入ります。



シーメンス株式会社  
デジタルインダストリーズ  
ファクトリーオートメーション  
事業部  
セールススペシャリスト  
中原 和紀

## 【IF08】シーメンスと始めるFAのデジタル化とその事例紹介

日本の課題として2025年の崖という言葉があります。メジャーソフトウェアのサポート終了と共に、過剰にカスタマイズされたITレガシーシステムがデータ活用の障壁となりDXが遅れると言われていました。しかしこれは、過去からの縛りからの脱却をするチャンスでもあります。本セッションでは制御エンジニアリングとIT/OT統合の視点で、FA領域のデジタル化と、それに取り組まれている各社の事例をご紹介します。

## 【IFG1】ユーザー様講演

(現在調整中)



All for dreams

日本電産マシンツール株式会社  
技術本部/技術開発推進室/首席技師  
若本 弘幸 様

## DMG MORI

DMG森精機セールスアンドサービス株式  
会社  
AM部  
猪野 良樹 様

## ユーザー様講演

### 【IFG2】デジタル・ツインを活用したフィジビリティスタディの効率化

当社では、ユーザー様への設備提案、ベンチマーク時にNX CAMとマシンシミュレーションを活用しています。特に、多軸加工機や複合加工機、AM機では実加工前のマシンシミュレーションは重要な検証項目の一つであり、なくてはならない存在です。本セッションでは、当社とシーメンス社で共同開発しているMTSK(マシン・ツール・サポート・キット)の活用例についてご紹介いたします。



MaNa Design Works

マナ・デザインワークス株式会社  
代表取締役  
石神 孝頭 様

## ユーザー様講演

### 【IFG3】システムインテグレーターとしてのDX活用事例

当社は産業電気設備全般の総合エンジニアリング業務を行っているシステムインテグレーターです。特に、昨今のDX化はオートメーション側にも波及してきており、当社でもシーメンス社のNX MCDを導入して設計のデジタル・ツインを実現しています。このセッションでは、選定までのプロセス、導入して気付いたことを中心に、なぜ当社の立ち位置でNX MCDを導入したかについてご紹介いたします。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IFS1】モノづくりのデジタル化 ~MBD/MBEの普及に向けて~

Industrie4.0に代表される次世代のモノづくり基盤の一つは、3D設計データをモノづくり工程内で拡張利用することです。欧米のマーケットではMBD(Model Based Definition)からMBE(Model Based Enterprise)への展開がはじまっており、導入ユーザーは効率的なモノづくりを実現しています。このセッションでは、MBDの作成からMBEへの拡張利用でご利用可能な様々なソリューションをご紹介いたします。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IFS2】シーメンスバードノイシュタット工場のデジタル化事例

シーメンスのモーター工場の一つ、バードノイシュタットでは様々なデジタル化ツールを導入し、包括的なデジタル・ツイン技術から、デジタルエンタープライズを実現しています。このセッションでは、製品設計、生産計画、生産技術、生産実行、サービスに至る、モノづくりのエンジニアリングバリューチェーンでどのようなツールをどのように活用しているかをご紹介します。



シーメンス株式会社  
デジタルインダストリーズ  
ファクトリーオートメーション  
事業部  
ビジネスデベロプメントグ  
ループマネージャ  
雨宮 祐介

## 【IFS3】シーメンスインダストリアルエッジAI活用事例-豊田自動織機様

シーメンスのエッジコンピューティング国内採用事例として、株式会社豊田自動織機様の事例を紹介いたします。



シーメンス株式会社  
ポートフォリオ開発本部  
ディレクター  
丸山 貴弘

## 【IFS4】次世代のモノづくりを適用する~形状最適化技術とAMの可能性~

近年、次世代のモノづくり手法の一つであるアディティブマニュファクチャリング(AM)が生産・工作機械業界でも適用がはじまっています。特に、形状最適化が注目されていますが、これは魔法の技術ではありません。生成された解析結果をCADに戻し、カタチを整えて製造に引継ぐ必要があり、多くのソリューションでは独立したソリューションが展開され、データの一貫性が担保されていません。このセッションでは、シーメンスが提供するE2EのAM向けソリューションと、データの一貫性を担保する技術について紹介いたします。